

平成 27 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	10	01	03	0406	まなび交流学習事業	
総合計画	分野	人づくり				
	政策	3-2	学校教育の充実			
	施策	1	学力・体力の向上			
目的	児童に発達段階に応じた学びの場を提供するため、複式学級に在籍する児童に、集団で行う実技教科を適正な人数で体験させる。					
対象	複式学級に在籍する児童					
意図	発達段階に応じた学びの場の提供					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
○笹間第一小学校と笹間第二小学校とが合同で行う音楽、体育、その他の交流（総合的な学習の時間、外国語活動）を体験させる。						
○大迫小学校と亀ヶ森小学校と内川目小学校とが合同で行う音楽、体育、その他の交流（総合的な学習の時間、外国語学習）を体験させる。						
市民参画の有無 [ 対象外 ]						
市民協働の形態		共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定		
		後援・協賛	補助・助成	委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
①	交流回数	回	計画	4	4	
			実績	4	4	
②			計画			
			実績			
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
①	授業を受けてよかったと考えた児童の割合	%	目標	85.0	95.0	
			実績	93.0	97.3	
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	<input type="radio"/>	目標値より高い	概ね目標値どおり	目標値より低い		

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
発達段階に応じた学びの場を提供することが必要であり、集団で学ぶことの良さと大切さ、楽しさを理解してもらうことが重要であることから、児童の満足度を表す数値とした。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	すべての児童が学校規模に関わらず、発達段階に即した教育を受けられるようにする事業である。
	<input type="radio"/> 妥当である	
	見直し余地がある <input type="radio"/> 妥当でない	
有効性	成果の向上余地	各校の校内事情を鑑みながら進めていくため、年々調整が図られ向上の余地がある。
	<input type="radio"/> 向上余地がある	
	向上余地がない <input type="radio"/>	
効率性	事業費・人件費の削減余地	児童の移動に係る輸送費及び授業に係る講師の謝金・旅費及び消耗品費であり削減の余地はない。
	事業費の削減余地がある 人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない	
	公正性	受益と負担の適正化余地
<input type="radio"/> 受益機会の見直し余地がある 費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である		
総合評価 …上記評価結果の総括		
本事業により、小規模校では普段味わえない集団活動を行うことができ、特に体育等で子どもたちが喜んで授業を受けている様子が見られる。また、特別支援学級の子どもの交流を行い、よい刺激を得ている。		

平成 27 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

担当部署 部名 教育部 課名 小中学校課 担当係長 佐々木 健一 内線 9-30-338  
(単位：千円)

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	10	01	03	0406	まなび交流学習事業

単位：千円

		26年度 決算額(A)	27年度 決算額(B)	28年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		231	252		21
財源内訳	国・県				
	地方債				
	その他				
	一般財源	231	252		21

事業期間	○	単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---	-------	------	-----------------

部経営方針における目標  
夢と希望をもち、たくましく生きぬく子ども達を育む学校教育の充実

事業開始の背景・経緯  
すべての児童に発達段階に応じた学びの場を提供することが市の使命であることから、この事業を開始する。

事業概要  
○笹間第一小学校と笹間第二小学校とが合同で行う音楽、体育、その他の交流（総合的な学習の時間、外国語活動）を体験させる。  
○大迫小学校と亀ヶ森小学校と内川目小学校とが合同で行う音楽、体育、その他の交流（総合的な学習の時間、外国語学習）を体験させる。

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等  
○すべての実技教科授業を一緒に行うことが出来ないため、該当校間で連絡調整を図りながら進める。  
○該当校の教育活動に支障をきたさないよう、各校の状況を鑑みながら無理のない範囲で行う。

《事業手法の詳細》

